

第3回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）オンライン

講演：『訪問介護（終末期ケア）』

講師：訪問介護事業所 なうら 管理者 宮國 隆哉 氏

○日 時：令和5年9月21日（木） 午後7時00分～8時30分

○場 所：Zoomを使用するのオンライン研修会

○参加者：19名

（医師1名、看護師3名、薬剤師1名、栄養士3名、リハビリ2名、社会福祉士1名、介護職2名、ケアマネジャー・ケアプランナー4名、その他2名）

- 【目的】①那覇市における在宅医療を推進し、切れ目ない提供体制を構築するため、在宅医療に必要な基本知識を体系的に学ぶ。
- ②各職能団体と連携することにより多職種チームビルディングの促進を図る。
- ③在宅実地研修（訪問診療同行）を組み合わせることにより、在宅医療の実際について学び、連携を強化する。
- ④感染対策のため、オンラインにて研修会を実施する。より多くの専門職に学んでいただくために事後配信も行う。

【対象】医療・介護関係者

【方法】Zoomでの研修会、グループワーク（事例検討⇒多職種それぞれの視点から意見交換）

【考察】参加者は、ケアマネジャー・ケアプランナーが最も多く約21%であった。「訪問介護について理解できたか」については、ほとんどの参加者が理解できたとの回答であった。参加者より、「どのように連携を取りながら安定期から終末期までの間、どういった状況でどういう点が困っていたのか理解しやすかった」、「訪問介護は終末期ケアについて未熟な点が多く、訪問看護師や医師に頼りがちだが、日々の様子を細かく見れる点でヘルパーの情報はとても重要と感じた。今後ニーズの増えてくる看取りケアについて医療チームと連携しながら力を磨いていきたい」と前向きな感想もあり、介護職発信の連携のあり方について議論できた。



日 時：令和5年9月21日（木） 19：00～20：30

場 所：Zoomによるオンライン研修会

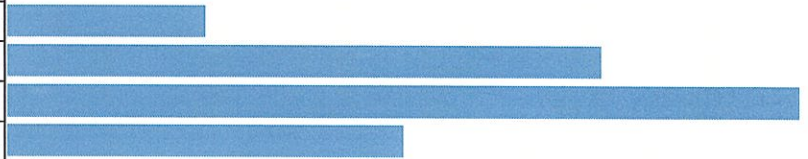
講 師：訪問介護事業所なうら 管理者 宮國 隆哉 氏

参加者：19名（医師1名、看護師3名、薬剤師1名、栄養士3名、リハビリ2名、社会福祉士1名、
ケアマネジャー・プランナー4名、介護職2名、その他2名）

アンケート回答者：10名

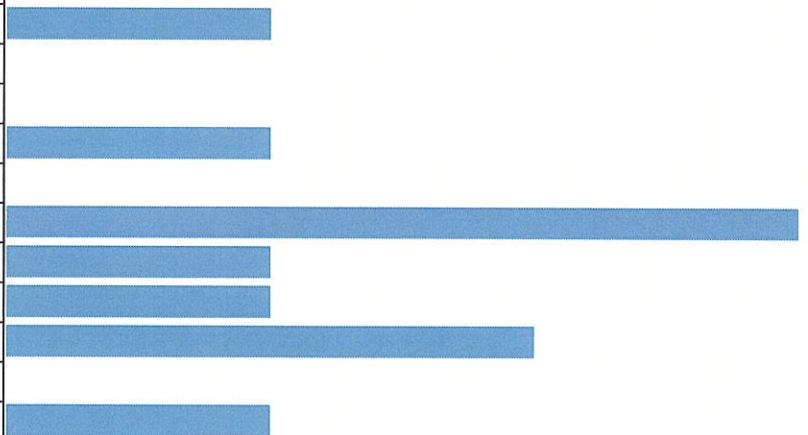
1. 経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	0	0%
1～5年未満	1	10%
6～10年未満	3	30%
11～20年未満	4	40%
21～30年未満	2	20%
31年以上	0	0%
総計	10	100%



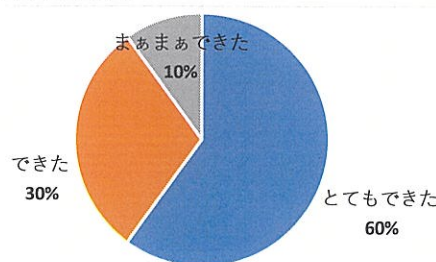
2. 職種の内訳

職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	1	10%
保健師	0	0%
薬剤師	0	0%
栄養士	1	10%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	3	30%
リハビリ	1	10%
社会福祉士	1	10%
介護職（ヘルパー等）	2	20%
歯科衛生士	0	0%
その他	1	10%
総計	10	100%



3. 領域別セッション「訪問介護」について理解できましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	6	60%
できた	3	30%
まあまあできた	1	10%
できなかった	0	0%
総計	10	100%



4. 演題：『訪問介護』（講師：宮國 隆哉 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

・宮國さんの総評を聞き、ケアマネ業務をしている自分が多職種間の連携を滞らせていないだろうか？との思いに至りました。訪問介護事業所と訪問看護事業所とで直接連絡を取り合える体制を提案するなど、明日からの業務に活かしたいと思いました。連絡ノートも使用したことが無いので、多職種が関わっているケースに対しては活用を検討しても良いのかな、と思いました。今日はありがとうございました。

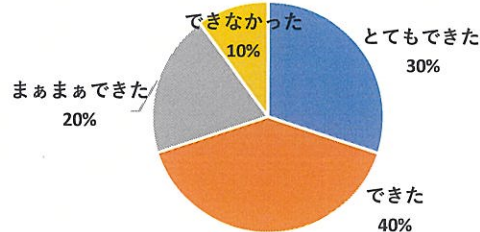
・とても勉強になりました。1人の方と長く最期の時までを関わる事はすごく大変だと身に沁みて思います。実際に時系列にして文章化されているのを見ると、改めてすごいなと思いました。お話しが聞けて良かったです。ありがとうございました。

・具体的な症例のエピソードより、利用者さんの身体的側面だけでなくメンタル面での経過、それに寄り添った関わり方を具体的に学ぶ事ができました。難しい介入で、経験しなければ学ぶ事のできない貴重な講話をありがとうございました。

- ・訪問介護のお話を聞く機会がなかったので、とても為になるお話を聞けました。
- ・分かりやすい資料で、どのように連携を取りながら安定期から終末期までを支援していたのか、理解しやすく勉強になりました。
- ・事例について詳しく説明していて、どういう状況で、どういう点で困っていたかが分かりやすかった。
- ・多職種で連携し最期まで看取られた様子が伝わり、とても勉強になりました。
- ・宮國さんの終末期ケアにおける体験談、非常に勉強になりました。宮國さんがおっしゃっていたように、訪問介護は終末期ケアについてまだまだ未熟な点が多く、訪看やドクターに頼りがちな点があると思います。しかし、日々の様子を細かく見れる点で、ヘルパーの情報はとても重要だと感じました。今後ニーズの増えてくる看取りケアについて、もっと勉強し、医療チームと連携をしながらヘルパーの力を磨いていきたいと思います。

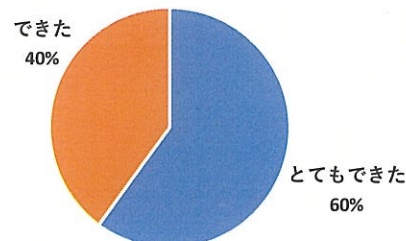
5. グループワークでは、ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	3	30%
できた	4	40%
まあまあできた	2	20%
できなかった	1	10%
総計	10	100%



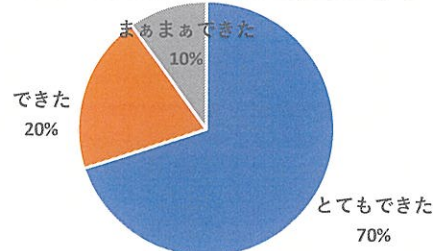
6. 在宅医療・介護の視点について学ぶことができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	6	60%
できた	4	40%
まあまあできた	0	0%
できなかった	0	0%
総計	10	100%



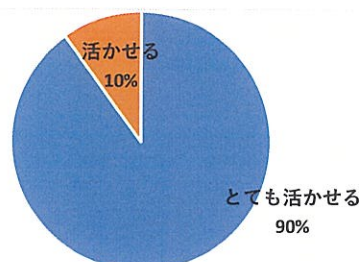
7. 多職種の状況を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	7	70%
できた	2	20%
まあまあできた	1	10%
できなかった	0	0%
総計	10	100%



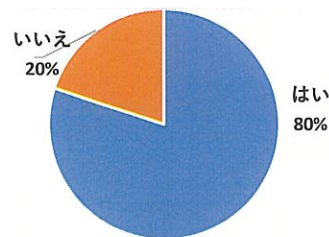
8. 明日からの業務に活かしますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	9	90%
活かせる	1	10%
まあまあ活かせる	0	0%
活かさない	0	0%
総計	10	100%



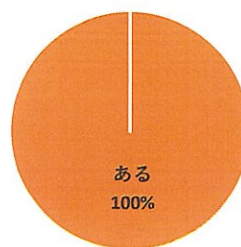
9. 現在、在宅医療・介護に従事していますか。

選択肢	人数	割合
はい	8	80%
いいえ	2	20%
総計	10	100%



10. 在宅医療・介護に関心がありますか。（問9で「いいえ」と回答した方への質問）

選択肢	人数	割合
とてもある	0	0%
ある	2	100%
まあまあある	0	0%
ない	0	0%
総計	2	100%



11. 今後、在宅医療・介護に関わってみたいと思いますか。（問9で「いいえ」と回答した方への質問）

選択肢	人数	割合
とても思う	0	0%
思う	2	100%
まあまあ思う	0	0%
思わない	0	0%
総計	2	100%

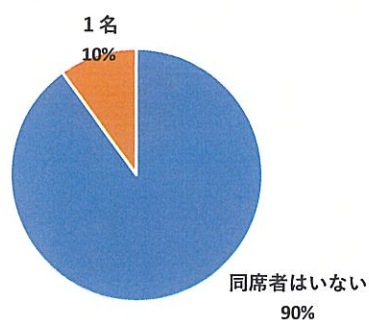


12. 今回の在宅医療・介護スクラム塾の全体を通して、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・オンライン受講も可能なので、気軽に参加できるのが良いと思います。
- ・多職種の方々よりお話が聞け、それぞれの視点を学び多い時間となりました。
- ・多職種連携の大切さを改めて感じました。
- ・毎回の講習会では、新たな視点が得られたり、アップデートもできる良い機会となりました。ありがとうございます。
- ・グループワークのテーマは難しく感じて、どういう風に進めるか迷っていた。それでも、現場経験のある参加者のおかげで、意見をまとめることができました。参加して良かったです。
- ・研修会に参加させて頂きありがとうございました。ご準備からお疲れ様でした。多職種連携について、限られた時間の中では難しいかと思いますが、私自身の経験が乏しいため、もっと様々な職種に参加頂いて色々な視点からの経験談や意見などが聞けたらありがたいと思いました。貴重なお時間をありがとうございました。
- ・事例を通して学ぶことが出来ることと、他職種の視点や意見が聞ける研修会の場になっているので、すごく良いです。
- ・毎回研修に参加する度に、他職種の業務の範囲を全く理解できていない事に気付かされます。密な連携をすればもっと良いケアができると反省させられると共に、他職種の方との密な連携ができるよう努力しなくてはと感じます。とても良い刺激になっております。今後もできる限り参加したいです。

13. 受講時、同席者は何名いらっしゃいましたか。

選択肢	人数	割合
同席者はいない	9	90%
1名	1	10%
2名	0	0%
3名	0	0%
4名	0	0%
5名	0	0%
6名以上	0	0%
総計	10	100%



14. 同席者の職種について教えてください。（問13で同席者の数を回答した方への質問）

職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	0	0%
保健師	0	0%
薬剤師	0	0%
栄養士	0	0%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	0	0%
リハビリ	0	0%
社会福祉士	1	100%
介護職（ヘルパー等）	0	0%
歯科衛生士	0	0%
その他	0	0%
	1	100%